

## 千葉市在宅医療のための上映会&amp;講演会の開催について（報告）



日時：令和4年8月27日（土）13時から16時

場所：千城台コミュニティセンター 多目的室

主催：千葉市

協力：岩淵薬品株式会社 千城台コミュニティセンター

参加者：52人

## 1 事業目的

医療や介護が必要になっても、住み慣れた家や地域で生活したいと希望される方が、年々増えてきています。しかし、「病院や施設と同じような治療や介護が受けられるのだろうか」、「かえって大変な思いを本人も家族もしてしまうのではないか」という不安を感じる方も多くいると思います。

そこで、千葉市では、地域包括ケアシステム構築の一環として、在宅療養や終末期医療に関する普及啓発の取組みを行っています。

病気や障害に向き合って、自分らしく生活するための場所として、病院や施設の他に在宅も選択できる地域社会を目指しています。

## 2 内容

### （1）在宅療養に関する映画上映会

〇ピア まちをつなぐもの ©2019 「ピア」製作委員会

<http://peer-movie.com/> （公式サイト）

#### 【あらすじ（公式サイトより）】

若手医師が悩みながらも懸命に在宅医療という高齢化社会の大きな課題に取り組んでいくという感動の物語。病気で倒れた父親の医院を継ぐために、大学病院を辞めざるを得なくなった若手医師の高橋雅人（細田善彦）は、父・圭蔵（升毅）の要望で渋々訪問診療も始めることになる。

しかし大学で先端医療の研究を志していた雅人にとって、地域の患者やその家族たちの医療には、なかなか関心を持ってないでいた。それに加えて医師としてのプライドもあり、ケアマネジャーの佐藤夏海（松本若菜）や介護福祉士など他の職種との連携も積極的にとらず、やがて地域医療の中で孤立していくようになる。

そんな中、訪問診療に行ったある患者家族との出会いによって、雅人の医師としての考え方が大きく変わっていくことになるのだった…。

〇本作とシリーズの映画は、各種講演会等で上映する場合、映像や広告媒体の提供を、制作元に申込むことができます。（注：有償）詳しくは、<https://carenin-cinema.com/>をご覧ください。

※千葉市では受付けておりません。

（次ページあり）

## (2) 終末期医療に関する講演会 「緩和ケアについて」

○講師：千葉県がんセンター緩和医療科部長 坂下 美彦 先生

### 【内容】

在宅での看取りでカギとなる、「緩和ケア」というワードについて、聞いたことはあるけど、どんな治療法で、どのような目的で行うのか。

また、末期がんなど、治らない病気とどのように向き合い、その「苦しみ」を通して見える「支え」となるものの存在にどう気づくか、どう「支えていくか」について、がん治療の最前線で患者さんと常に向き合っている、千葉県がんセンターの坂下美彦先生よりご講演いただきました。

坂下先生は、行政と千葉市医師会や歯科医師会、薬剤師会等の医療系職能団体と、千葉市介護支援専門員協議会などの介護系職能団体、その他医療・介護の有識者で構成する、千葉市在宅医療推進連絡協議会の委員として、千葉市における在宅医療・介護連携推進事業にもご協力をいただいています。



参加された皆さんも、真剣に講義を聞いておられました。

## 3 まとめ

上映と講演の後の質疑応答では、在宅医療の事態についての質問や、独居の方の在宅療養についてご質問をいただきました。

日本では、在宅で療養し、終末期を過ごす方の割合は、欧米と比較して低い実態があります。古くから死をタブー視する文化や、誰でも高度な医療が受けられる医療体制の充実、核家族化など、様々な要因が考えられますが、病院や施設を選択する方も、できれば家で療養したいという気持ちは持っていると思います。

このような思いに寄り沿うべく、千葉市では、今後も在宅療養の推進に取り組んでいきますが、在宅療養だけが、本人・家族に寄り添うものであるということでは決してありません。

病院や施設と同様に、その人が望む療養場所として、在宅を不安なく選択できるように、医療と介護の連携による切れ目のないサービス提供体制構築を進めていきたいと考えております。

在宅医療・介護連携支援センターでは、在宅医療の推進や医療・介護連携に関する、地域の自治会や専門職の主催する講演会や勉強会等の開催支援を行っております。

いつでもお気軽にご相談ください。

**TEL:043-305-5021(内田・安田)**

**メール:renkeicenter.HWH@city.chiba.lg.jp**